

庁舎への道路新設計画は

町としては未計画



やまもと ひさお 議員  
山本 久夫

ることが出来れば、工  
用道路や残土の受入れ等  
ができ、早期の完成がで  
きると考える。  
今後、計画策定におい  
ては、地元説明や地権者  
への説明、国交省との協  
議など時間を要する事  
になると思うが、道路の必  
要性を考慮し、計画策定  
に向けた取組みが出来な  
いか。

答 金子まちづくり課長

**問** 錦野地区および緑野  
地区から本庁舎への道路  
新設は、両地域の利便性  
だけでなく防災及び高台  
移転の促進等、将来の入  
野地区のまちづくりには  
必要だと考える。

将来、高速道路が延伸  
するには、機能復旧の道  
路や側道が必要となるが、  
これに併せた町道の検討  
が重要ではないか。

高速道路の延伸、供用  
開始までには時間が掛か  
るが、仮称入野インター  
附近の用地等の協力を得

錦野地区及び緑野地区  
から本庁舎への道路計画  
については、国道を経由  
が不要となる平時の利便  
性の向上や、津波発生時  
に浸水地域を通過せずに  
本庁舎に到達できるなど、  
有事の際の有効性におい  
て必要性のある道路だと  
は認識している。

高速道路については、



本庁舎上空より緑野団地方向を望む

平成29年に事業化された  
佐賀大方面、昨年事業化  
された大方四十間、こ  
の計画路線が、錦野団地  
および緑野団地の山側を  
通過するように計画され  
ている。

今後、国土交通省の地  
元説明等に併せて、高速  
道路に関連した側道、工  
事用道路、その整備もで  
きないか、また地元の要  
望も踏まえて、担当課と  
して、国への要望、協議  
も行っていきたい。

尚、計画策定の準備に  
ついては、まだ地元説明  
も未実施で、時期的なこ  
とについては考えていな  
い。



本庁舎北側上空より海側を。右側に本庁舎、左側に錦野団地が望める